

会 議 録

会 議 名	令和5年度第1回東松山市スポーツ推進審議会					
開 催 日 時	令和5年8月9日（水）			開 会	午後1時30分	
				閉 会	午後2時30分	
開 催 場 所	東松山市総合会館1階 多目的室					
会 議 次 第	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議事 第2期東松山市スポーツ推進計画（令和4年度）の進捗について 5 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍 聴 者 数		0人		
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	会 長	森 浩 寿	出席	委 員	奥 野 清	出席
	委 員	河 野 喜 男	欠席	委 員	鷺 巢 明 喜	欠席
	委 員	木 阪 尚	出席	委 員	新 井 克 仁	欠席
	委 員	田 中 透	出席	委 員	山 崎 秋 良	出席
	委 員	鈴 木 正 弘	出席	委 員	藤 野 香 織	出席
	委 員	七 五 三 和 孝	出席	委 員	暮 松 靖 弘	出席
事 務 局	教 育 長 吉 澤 勲			生涯学習部長 柳沢 知孝		
	生涯学習部次長 田島 信子			スポーツ課長 山口 勉		
	スポーツ課副課長 小林 裕介			スポーツ課主査 長島 靖幸		
	スポーツ課主任 高橋 沙織					

次 第	顛 末
1 開 会	<ul style="list-style-type: none"> －進行 事務局山口課長－
2 委嘱状交付	<ul style="list-style-type: none"> －吉澤教育長より木阪委員、山崎委員へ委嘱状を手交
3 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> －吉澤教育長 あいさつ
	<ul style="list-style-type: none"> －各委員より自己紹介
	<ul style="list-style-type: none"> －森会長 あいさつ
	<ul style="list-style-type: none"> －事務局山口課長より委員の出席状況の報告。9名の委員が出席。
	<p>東松山市スポーツ推進審議会条例第6条第2項の規定による定足数に達しており、本日の審議会は成立していることの報告。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> －資料の確認－
4 議 事	<ul style="list-style-type: none"> －森会長の進行に代わり、議事の進行。
	<ul style="list-style-type: none"> －議事録署名人として山崎委員、藤野委員を指名。
	<ul style="list-style-type: none"> －会議は公開とする。
	<ul style="list-style-type: none"> －傍聴人はなし。
	<p>「第2期東松山市スポーツ推進計画（令和4年度）の進捗について」</p>
	<ul style="list-style-type: none"> －事務局より資料説明
	<p>（森会長）</p>
	<p>教室は数多く実施となったが、参加者が伸び悩んでいる。その原因は。</p>
	<p>（事務局）</p>
	<p>コロナウイルス感染症対策の影響にて、集まって運動をするという習慣が途絶えたことが一因であると考えている。駅伝競走大会ではチームの人員を集めるのに苦慮していた。</p>
	<p>（森会長）</p>
	<p>スポーツ協会ではその辺りの状況はどうか。</p>
	<p>（田中委員）</p>
	<p>チームスポーツは人数が揃わない、高齢者が戻ってこない、という話を聞く。</p>
	<p>（森会長）</p>
	<p>少年団ではどうか。</p>
	<p>（七五三委員）</p>
	<p>大会等は通常どおりに実施されている。それよりも団員数が落ちており</p>
	<p>少子化の影響の方が大きい。</p>

(山崎委員)

私自身、駅伝大会には過去にも参加していたが、職場では福祉・医療に携わる者としてはまだ時勢的にチームとして参加は難しいという話が出ていた。

(山口課長)

今年度、駅伝競走大会は市制施行 70 周年の記念大会での開催を予定している。1 チームの人数も 7 人から 6 人へ減らして募集をするため、是非参加をお願いしたい。

(森会長)

参加者も徐々に元に戻っていけば良いと思う。

大学でもコロナ禍を経験した学生とそうでない学生で学業へ取り組む姿勢等にギャップがある。大学側はコロナ前の従来のやり方に戻したが、それに学生側がついていけない様子で苦慮している。

コロナは終わったと言えないが色々な所に余波が出ている状況である。

その他、推進項目 1 の部分で何か意見等は。

(暮松委員)

教室参加希望者が少ないという点で、自治会も少子高齢化とも併せて体育祭において、36 自治会の内 16 自治会と参加数が減っている。

この時期は致しかたないと思っている。自治会でも諸課題あるので、少しずつ検討していきたいと思う。

(森会長)

事業をやめるのは簡単だが元に戻すのは大変である、ということをお話として学んだ。

他に無ければ、推進項目 2 ウォーキングの推進について意見は。

(奥野委員)

ウォーキングについては多人数で集まる事業の実施方法を変更し、参加者数等にはあまり影響がなかった様に思える。

事業については元に戻すだけでなく、実施方法も変えていくのが良い。

市の人数把握は資料記載の事業だけであるが、これら以外にも任意団体での実施事業もあるため、それらも集計してはどうか。

また、指標でスリーデーマーチ参加者が減っているというのはどういう

理由が考えられるか。

(事務局)

スリーデーマーチに過去参加したという今年度の数値は2022年実施の市民意識調査の結果である。

その要因については年齢的に30～40代、地区は高坂地区が平均よりも下回っているため、高坂地区における開発地に市外から人口が多く入ってきたことによるものと思われる。

(奥野委員)

数字だけ出されてしまうと、という所もあるのでその辺りの分析は必要だと思う。

(鈴木委員)

月例ウォーキング参加者の数字の報告は各ウォーキングリーダーからの数値か。実際にはもう少し多いイメージがある。

(事務局)

集計はウォーキングリーダーから報告される数値となっている。

(森会長)

他に意見が無ければ、推進項目3スポーツを楽しむ環境づくりの推進の部分で何か意見等は。

(鈴木委員)

事業への参加としては、今年度のグラウンド・ゴルフ大会にて90歳以上の参加が5名おり、93歳の方が優勝する等の活躍をしている。

一方で、グラウンド・ゴルフを新規にやってみたいという問合せがあるが、連盟もグラウンドにコースを都度作っての活動となるため、すぐに紹介できる場所が無い。グラウンド・ゴルフの常設コースを作ってはどうか。

(森会長)

どこでやっているのか、どこに聞いたらいいのか、という話は良く耳に入るので、情報の出し方、周知の方法を工夫するのも一つである。

その他はいかがか。

(山崎委員)

周知方法については課題だと思うが、アンケート等にて教室参加はどの様な人が来ている等の把握はしているか。そこから参加者が広がっていけば良いと思う。

(事務局)

アンケートについては公社等にて施設利用者に対し定期にしている。

周知についてはホームページで市主催の教室の内容を紹介する取り組みを今年度より始めたところ。

(山崎委員)

高齢者には難しい所があるかも知れないが、2次元コードでアンケートを取ったり、現在はスマホが普及しており、方法も多様化しているので、そうしたやり方も検討してはどうか。

(森委員)

市も課題で情報発信を挙げており、できるものから一つずつ実施をしており、市も当初の計画から扱うメディアが増えているが、世の中の動きが早いので大変だと思う。

資料の中で、指標の5と6の数字が特に低い。5の研修会参加者はわかるが、6の利用しての満足度が特に低い理由については。

(事務局)

こちらにも分析が必要という所ではあるが、指標の数値は令和4年度に実施の市民意識調査の結果によるもの。

今回の設問より、新たに「利用したことが無い」という項目を入れたため、そこに流れてしまったことが一つの要因として考えられる。

実際、回答者の半数が利用した事が無いと回答している。

一方で、従来の調査では「無回答」を利用した事が無いと者と捉えていたが、その数は今回の調査の半分程度であった。

また、もう一つとしてはアンケートの回答年齢が、市民意識調査の方が高く、その年齢層が利用した事が無いと多く回答をしていることから、それも要因の一つだと思われる。

今後の推移をみて細かな分析ができると良いと思う。

(森会長)

やり方を変えた訳ではなく、満足度が低いという認識がないため、数字が一人歩きしない様に分析や背景の推測について実施していただきたい。

他に無いようであれば、全体を通して何か意見は。

無い様であれば、これにて議事を終了する。

—事務局より事務連絡

5 閉 会	スリーデーマーチ事前受付開始について ウォーキングセンター事業について ー柳沢部長より閉会の言葉
-------	--

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和5年8月29日

署名委員 山崎 秋良

署名委員 藤野 香織